

レジ袋等に関する消費者意識調査集計



◆調査の目的

消費者視点に基づいた、レジ袋等の削減取り組みの現状把握

レジ袋等の削減をするうえで、消費者の満足度を損なわない方法を探る。
その足掛かりとして、一般消費者の、環境に関する取り組み意識や実際の取り組み実態を把握する。

◆調査概要

MS&Consulting社モニターを対象とした、レジ袋等の意識調査

全国の一般消費者(20～50代男女)に対してインターネットアンケートを実施

【背景】

- ①コンビニエンスストア(以下、コンビニ)・ファストフード店(以下、FF店)の業態特性：
「すぐに飲む・食べる」商品売っている業態であり、レジ袋等は、品質管理や衛生面において必要な場合が多い。
- ②お客様のニーズ：
最寄品であり、マイバッグを持参する可能性は低い。また、平均客単価も食品スーパーマーケット(以下、SM)等と比べて少額であり、レジ袋等の有料化は負担が大きく感じられる。

◆過去調査結果から見える仮説

仮説

コンビニ及びFF店のレジ袋等の削減への取り組みに対して抱いている意識と実際に利用する時に抱く必需感とは乖離があるのではないか。

(温かい商品や冷たい商品、汁物商品についてはレジ袋等は必要なものである)

対して、レジ袋等有料化のフロントランナーであるSMIに対する意識と、実際にエコバッグを持参する等の消費行動には同一性がみられる。

従って、コンビニ及びFF店とSMIに対する消費者意識の業態上の違いを明らかにすることによって、コンビニ及びFF店の「レジ袋等に対する認識と理解」が深まるのではないか。

- ・使い捨ての容器がもったいない(FF店:56.9%、コンビニ:31.6%、SM:30.6%)
- ・レジ袋削減の取り組みが不十分である(FF店:26.1%、コンビニ:32.9%、SM:16.6%)

調査結果は日本小売業協会環境マネジメント研究会／女性・生活者の環境意識調査からの引用

◆設問方針

- ①SM利用時のレジ袋、マイバッグに対する意識とコンビニやFF店利用時の意識の違いを明らかにする。
- ②コンビニやFF店のレジ袋は、顧客満足(CS)と深く連関していることを明らかにする。
- ③コンビニやFF店でのレジ袋の必要の可否、レジ袋が有料になったとしても、その店を利用するか？有料化の許容範囲等の設問を設定。
- ④持ち帰ったレジ袋の活用方法について確認を行う。
- ⑤フリーコメントで今後の仮説に繋がる情報を得る。

< 設問 >

・属性	
Q1	性別 男性 女性
Q2	年齢 20代 30代 40代 50代
Q3	既婚/未婚 既婚 未婚
Q4	都道府県名 選択
Q5	コンビニの利用頻度 毎日 週2, 3回 週1回 2週間に1回 月1回 2か月に1回 3か月に1回以下
Q6	ファストフード店の利用頻度 毎日 週2, 3回 週1回 2週間に1回 月1回 2か月に1回 3か月に1回以下
・コンビニエンスストア、ファストフード店のレジ袋と顧客満足(CS)	
Q7	食品スーパーではレジ袋が必要だと思いますか はい いいえ
Q8	食品スーパーでどのようなものを購入した際にレジ袋が必要だと思いますか(複数回答可) 生鮮食品 加工食品 冷凍商品 その他(コメント)
Q9	食品スーパーのレジ袋有料化に対してどう思いますか(反対の場合、理由をご記載ください) 賛成 反対(コメント)
Q10	【Q9で賛成を選ばれた場合にご回答ください】食品スーパーでレジ袋が有料化された場合、レジ袋1枚当たり、いくらまでであれば許容範囲ですか 1円まで 2円まで 5円まで 10円まで 11円以上 Q9で「反対」を選択
Q11	食品スーパーでレジ袋が有料化された場合、有料化された食品スーパーを利用し続けようと思いますか はい いいえ
Q12	コンビニではレジ袋が必要だと思いますか はい いいえ
Q13	コンビニでどのようなものを購入した際にレジ袋が必要だと思いますか(複数回答可) 冷たいドリンク 温かいドリンク 弁当類 アイス等の冷凍商品 その他(コメント)
Q14	コンビニのレジ袋有料化に対してどう思いますか(反対の場合、理由をご記載ください) 賛成 反対(コメント)
Q15	【Q14で賛成を選ばれた場合にご回答ください】コンビニでレジ袋が有料化された場合、レジ袋1枚当たり、いくらまでであれば許容範囲ですか 1円まで 2円まで 5円まで 10円まで 11円以上 Q14で反対を選択
Q16	コンビニチェーン(お店)でレジ袋が有料化された場合、有料化されたコンビニチェーンを利用し続けようと思いますか。 はい いいえ
Q17	ファストフード店でテイクアウトの際、レジ袋は必要だと思いますか はい いいえ
Q18	ファストフード店でどのようなものをテイクアウトした際にレジ袋が必要だと思いますか(複数回答可) 冷たいドリンク 温かいドリンク 弁当類 ハンバーガー・ドーナツ類 その他(コメント)
Q19	ファストフード店のレジ袋有料化に対してどう思いますか(反対の場合、理由をご記載ください) 賛成 反対(コメント)
Q20	【Q19で賛成を選ばれた場合にご回答ください】ファストフード店でレジ袋が有料化された場合、レジ袋1枚当たり、いくらまでであれば許容範囲ですか 1円まで 2円まで 5円まで 10円まで 11円以上 Q19で反対を選択
Q21	ファストフードチェーン(お店)でレジ袋が有料化された場合、有料化されたファストフードチェーンを利用し続けようと思いますか。 はい いいえ

< 設問 >

・レジ袋、マイバッグへの意識	
Q22	食品スーパーでの買い物の際、マイバッグを利用しますか 利用する 利用しない
Q23	【上記Q22にて「利用しない」と回答された方】その理由をお聞かせください マイバッグを持たないから レジ袋が便利だから その他(コメント) Q22にて「利用する」と回答
Q24	食品スーパーで精算をする際にレジ袋が必要かどうか聞かれたことはありますか 聞かれたことがある 聞かれたことがない
Q25	コンビニでの買い物の際、マイバッグを利用しますか 利用する 利用しない
Q26	【上記Q25にて「利用しない」と回答された方】その理由をお聞かせください マイバッグを持たないから レジ袋が便利だから その他(コメント) Q25にて「利用する」と回答
Q27	コンビニで精算をする際にレジ袋が必要かどうか聞かれたことはありますか 聞かれたことがある 聞かれたことがない
Q28	コンビニで精算をする際、レジ袋を断ったことがありますか ある ない
Q29	【上記Q28で「ある」と回答された方】どのような場合、レジ袋を断りましたか (コメント) Q28で「ない」と回答
Q30	ファストフード店でのテイクアウトの際、マイバッグを利用しますか 利用する 利用しない
Q31	【上記Q30にて「利用しない」と回答された方】その理由をお聞かせください マイバッグを持たないから レジ袋が便利だから その他(コメント) Q30にて「利用する」と回答
Q32	ファストフード店でテイクアウトをする際にレジ袋が必要かどうか聞かれたことはありますか 聞かれたことがある 聞かれたことがない
Q33	ファストフード店でテイクアウトをする際、レジ袋を断ったことがありますか ある ない
Q34	【上記Q33で「ある」と回答された方】どのような場合、レジ袋を断りましたか (コメント) Q33で「ない」と回答
・レジ袋の利用方法	
Q35	持ちかえったレジ袋は再利用しますか 再利用する 再利用しない
Q36	【上記Q35にて「再利用する」と回答された方】持ち帰ったレジ袋をどのような用途で再利用しますか ごみ袋として利用 レジ袋として再利用 その他(コメント) Q35で「再利用しない」と回答
・環境についての意識	
Q37	エコや環境問題についてのどの程度関心がありますか 常に関心を持っている テーマにより関心を持つ ほとんど関心がない 全く関心がない
Q38	【上記Q37にて「常に関心を持っている」「テーマにより関心を持つ」と回答された方】どんなエコや環境問題について関心がありますか(複数回答可) 地球温暖化 大気汚染 海洋汚染 森林破壊 異常気象 ごみ・廃棄物 その他(コメント) Q37で「ほとんど関心がない」「全く関心がない」と回答

◆意識調査

<調査対象>

株式会社MS&Consulting社登録モニター 1,804名程度

<調査方法>

インターネットアンケート

【サンプルについて】

・公的な調査におけるサンプル数を参考に、誤差率が5%となるように1,500サンプル強と設定。
(例)

【農林水産省】食品ロス統計(世帯調査)	...	680サンプル(170サンプル×4回)
【内閣府】食品表示に関する意識調査	...	1,807サンプル

・20代、30代、40代、50代の男女でそれぞれ200名強のサンプルをとっており、年齢・性別の偏りはなくなっている。

・個々人の意識差については、過去の環境に関する調査と類似の傾向がみられており、今回調査サンプルに偏りが無いことを検証。

詳細は「エコや環境問題についてどの程度関心がありますか」集計ページに記載。

(引用:マクロミル社独自調査より http://www.macromill.com/r_data/20090702eco/20090702eco.pdf)

◆結果まとめ

1)レジ袋について、コンビニ・FF店では必要性が高い

- コンビニでは80%、FF店では81%が必要と考えている。
- 「SMでレジ袋は不要(マイバッグ利用者と想定)」と答えた方のうち、「コンビニでは必要」が62%「FF店では必要」と74%の方が回答されている。

2)レジ袋の有料化について、コンビニ・FF店では反対が多く、有料化によって、 お店から離反する可能性も高い

- コンビニでは63%・FF店では66%が反対であり、SMの36%と比較をしても高い。
- 「普段利用するコンビニ・FF店でレジ袋が有料化された場合にはそのお店を利用しない」という回答の割合もそれぞれ45%程度で、SMを利用しない割合の27%よりも20ポイント程度高い。
- 有料化への許容金額についても、「1円まで」の回答がSMよりコンビニ・FF店の方が5ポイント程度高く、許容範囲が狭いことが分かる。
- 「SMでレジ袋有料化賛成」と答えた方のうち、46%は「コンビニでは反対」、51%は「FF店では反対」と考えている。

3)マイバッグについて、コンビニ・FF店では利用率が低い

- SMではマイバッグ利用率は70%を超えるものの、コンビニでは20%、FF店では10%と大きく差がある。
- ただし、コンビニでは購入量が少ないために、そもそもマイバッグもレジ袋も不要な場面も多く、FF店でもテイクアウトの他、イートインで飲食するケースも多いことから、マイバッグもレジ袋も利用しない場面も多い。

Q1,2性別・年齢

N=1,804

	20代	30代	40代	50代	総計
女性	220	227	233	224	904
男性	227	228	220	225	900
総計	447	455	453	449	1,804

Q1,2,3性別・年齢・既婚/未婚

N=1,804

	20代	30代	40代	50代	総計
女性	220	227	233	224	904
既婚	126	174	189	175	664
未婚	94	53	44	49	240
男性	227	228	220	225	900
既婚	31	131	149	152	463
未婚	196	97	71	73	437
総計	447	455	453	449	1,804

Q4都道府県別回答数

N=1,804

都道府県	データ数
東京都	272
大阪府	160
神奈川県	145
埼玉県	108
愛知県	102
千葉県	95
兵庫県	87
北海道	83
福岡県	82
静岡県	47
広島県	44
京都府	40
宮城県	29
奈良県	27
岐阜県	27
岡山県	26
新潟県	25
長野県	24
岩手県	24
滋賀県	23
熊本県	20
三重県	19
福島県	19
鹿児島県	18

都道府県	データ数
青森県	17
愛媛県	17
栃木県	17
茨城県	17
山口県	16
富山県	15
群馬県	14
和歌山県	13
香川県	13
山梨県	11
長崎県	11
秋田県	11
福井県	10
沖縄県	9
大分県	9
島根県	9
山形県	9
宮崎県	9
石川県	8
鳥取県	7
徳島県	6
高知県	6
佐賀県	4
総計	1,804

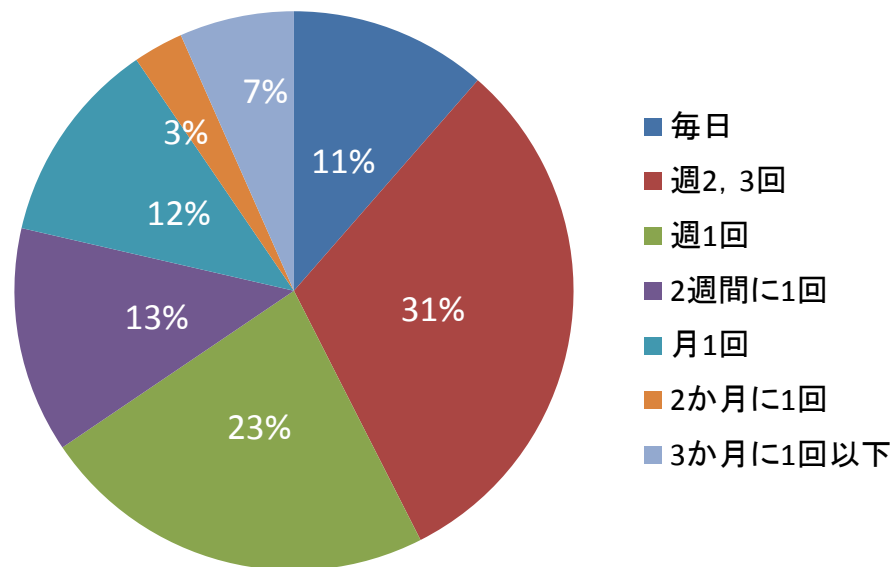
0) 基礎情報集計

調査期間: 2015年6月17日~7月6日
調査方法: インターネットアンケート
総有効回答数: 1,804件

Q5コンビニの利用頻度

N=1,804

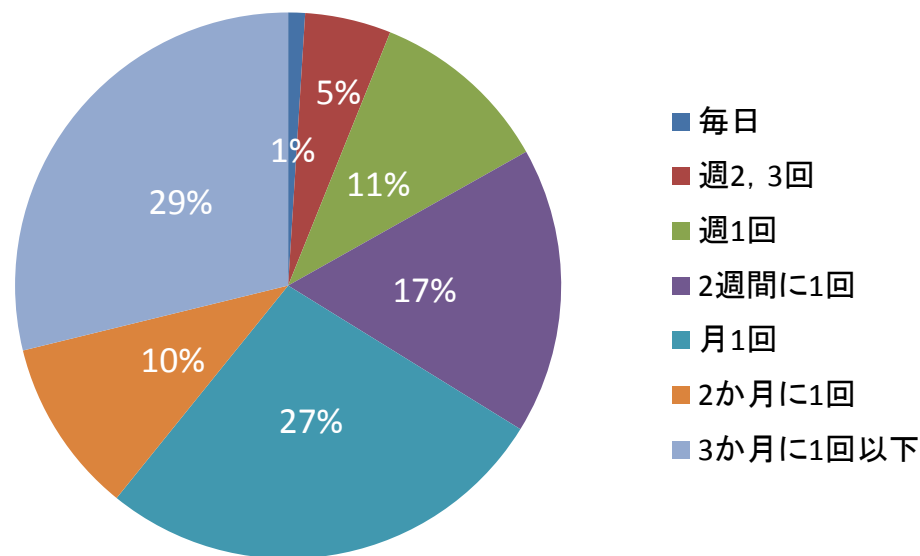
	割合
毎日	11%
週2, 3回	31%
週1回	23%
2週間に1回	13%
月1回	12%
2か月に1回	3%
3か月に1回以下	7%



Q6FF店の利用頻度

N=1,804

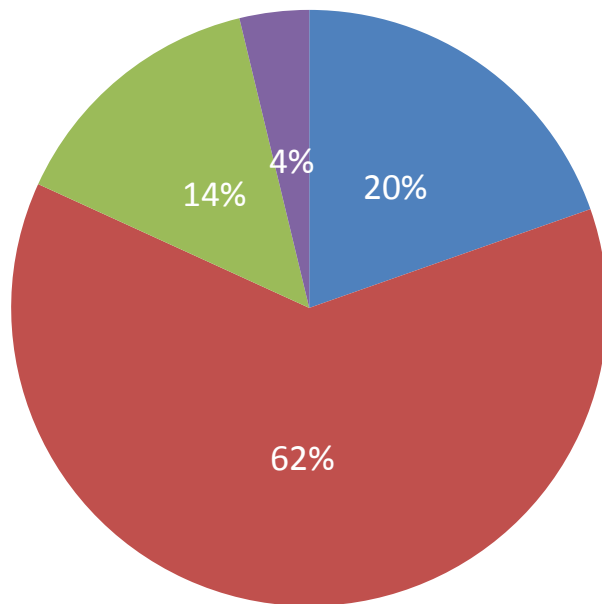
	割合
毎日	1%
週2, 3回	5%
週1回	11%
2週間に1回	17%
月1回	27%
2か月に1回	10%
3か月に1回以下	29%



Q37エコや環境問題についてどの程度関心がありますか

N=1,804

	割合
常に関心を持っている	20%
テーマにより関心を持つ	62%
ほとんど関心がない	14%
全く関心がない	4%



- 常に関心を持っている
- テーマにより関心を持つ
- ほとんど関心がない
- 全く関心がない

(参考)「2009年環境意識に関する調査」

Q.あなたは普段の生活で、「環境保護」をどの程度意識していますか？

N=1,302

	割合
とても意識している	16%
たまに意識している	67%
あまり意識していない	15%
まったく意識していない	2%

http://www.macromill.com/r_data/20090702eco/20090702eco.pdf

エコ意識は「テーマによって関心を持つ」場合が過半数を超える。「ほとんど関心がない」、「全く関心がない」、という回答は合計で18%程度で、大半の方はエコや環境への関心を持っている。

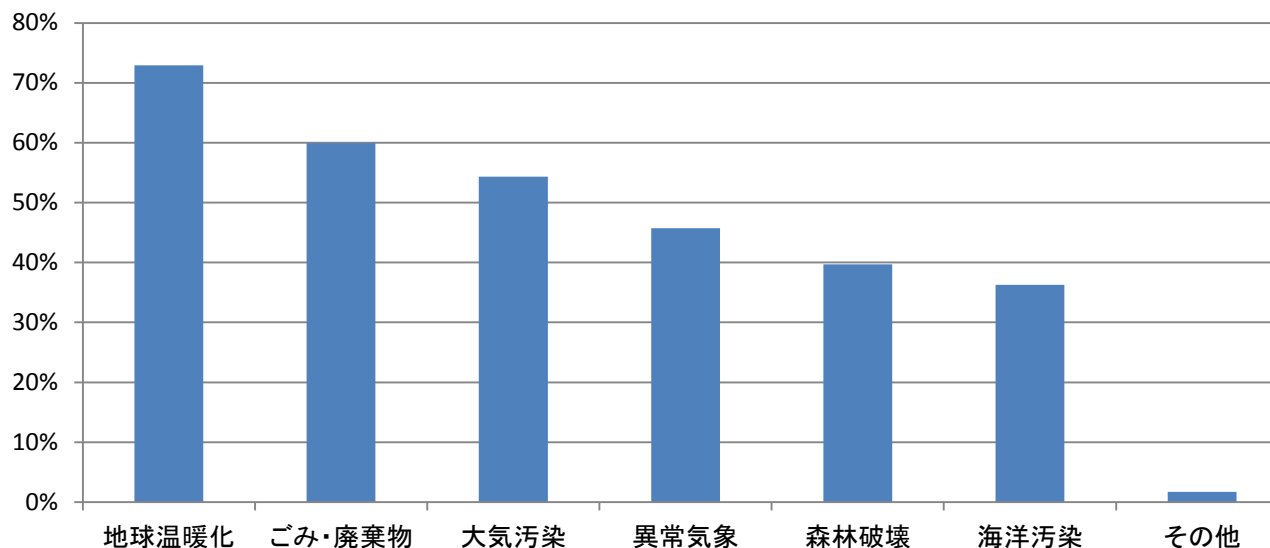
Q38どんなエコや環境問題について関心がありますか(複数回答可)

「Q37エコや環境問題についてどの程度関心がありますか」で「ほとんど関心がない」「全く関心がない」を回答した方は除外
 N= 1,476

	割合
地球温暖化	73%
ごみ・廃棄物	60%
大気汚染	54%
異常気象	46%
森林破壊	40%
海洋汚染	36%
その他	2%

【その他コメント例】

- ・生物多様性の問題
- ・土壌汚染
- ・放射能汚染



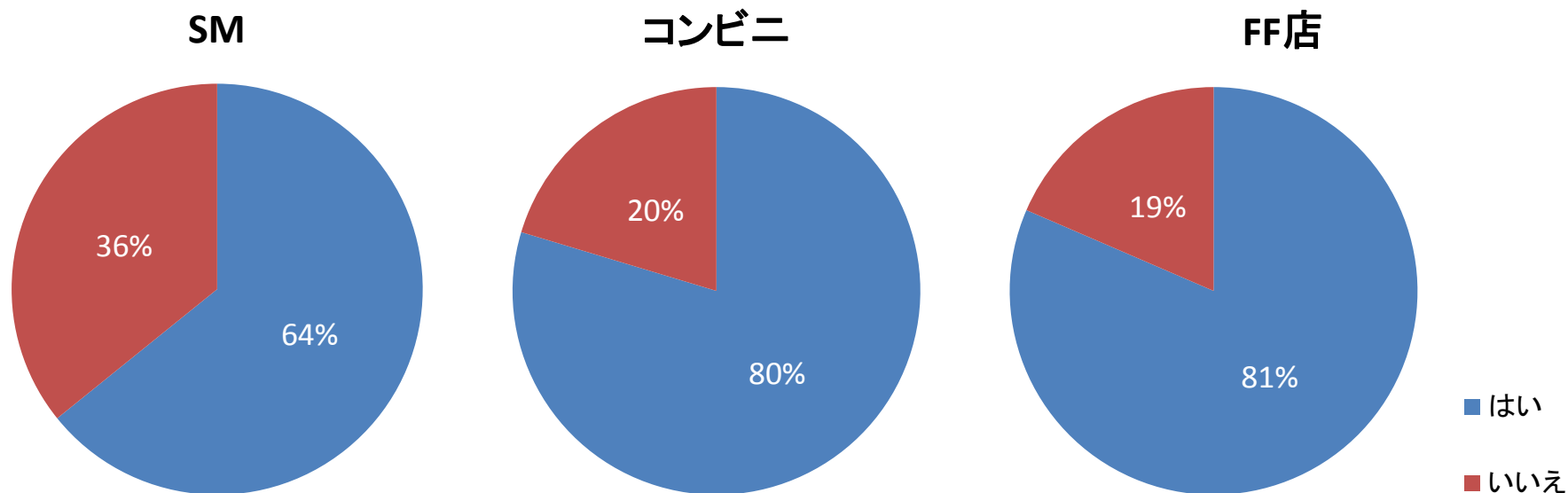
地球温暖化やごみ・廃棄物、大気汚染等、より身近に感じられるテーマに関心をもたれやすい。

1)レジ袋に関する意識

Q7,12,17レジ袋が必要だと思いますか

N=1,804

	SM	コンビニ	FF店
はい	64%	80%	81%
いいえ	36%	20%	19%



SMに比べて、コンビニやFF店の方が、レジ袋が必要と思われる割合が高い。

1) レジ袋に関する意識

Q8,13,18どのようなものを購入した際にレジ袋が必要だと思いますか(複数回答可)

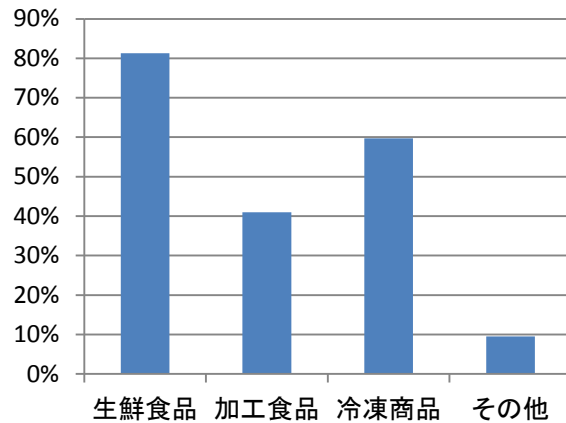
N=1,804

	SM
生鮮食品	81%
加工食品	41%
冷凍商品	60%
その他	9%

【その他コメント例】

- ・大きめの寿司盛合わせ等、エコバックに入らないもの
- ・米等の重たいものやスイカ等の大きいもの

SM

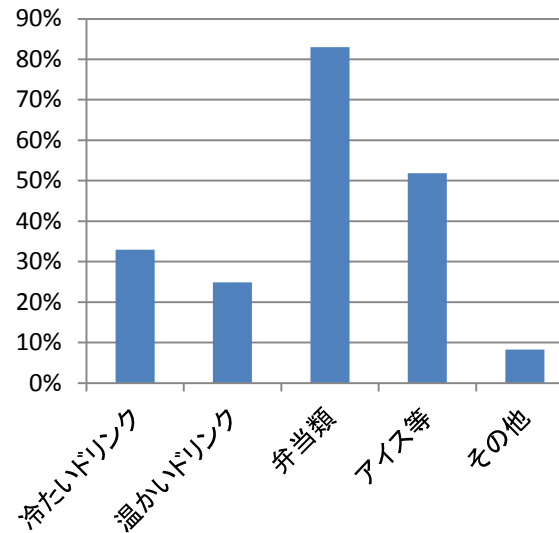


	コンビニ
冷たいドリンク	33%
温かいドリンク	25%
弁当類	83%
アイス等の冷凍商品	52%
その他	8%

【その他コメント例】

- ・温かいもの、冷たいものを一緒に買った時
- ・エコバッグに入りきれないだけ商品を購入した時

コンビニ

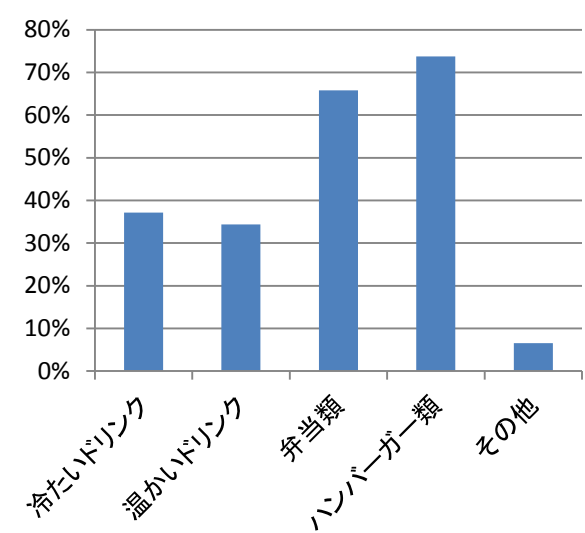


	FF店
冷たいドリンク	37%
温かいドリンク	34%
弁当類	66%
ハンバーガー・ドーナツ類	74%
その他	7%

【その他コメント例】

- ・セットにした時。単品ならいらない
- ・ポテト・唐揚げ等

FF店



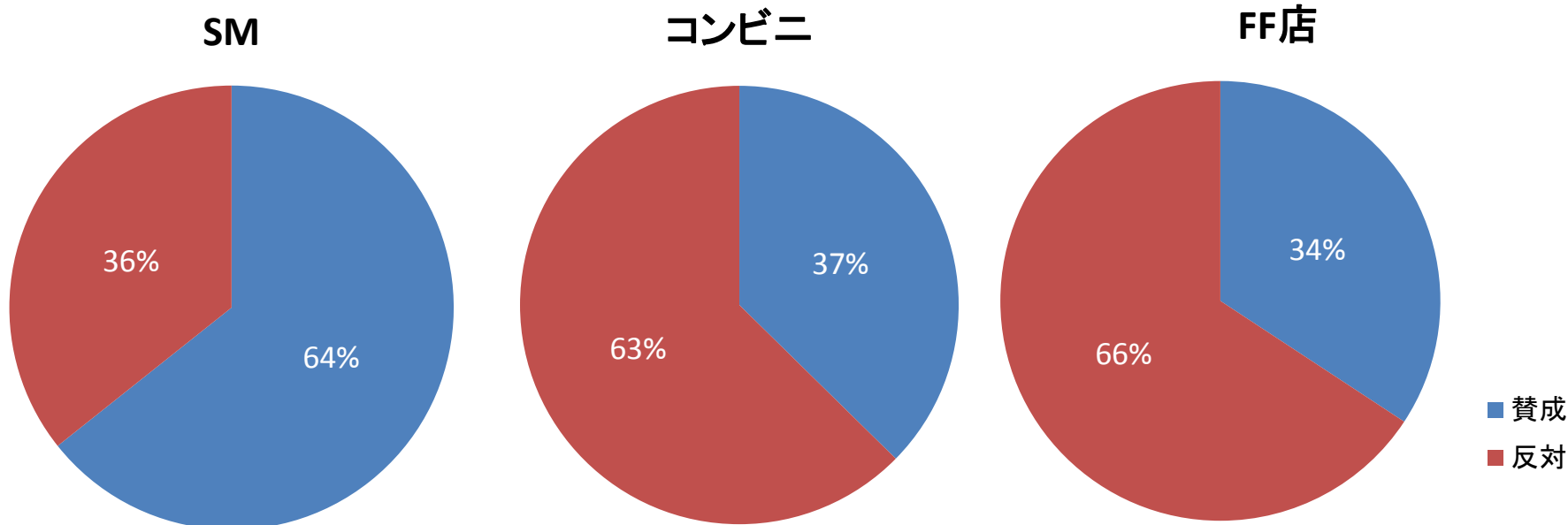
SMでは生鮮品購入時に最もレジ袋が必要とされる。コンビニでは弁当類やアイスで過半数を超える。FF店でも弁当類やハンバーガー・ドーナツ類で求められる。

2)レジ袋有料化に関する意識

Q9,14,19レジ袋有料化に対してどう思いますか

N=1,804

	SM	コンビニ	FF店
賛成	64%	37%	34%
反対	36%	63%	66%



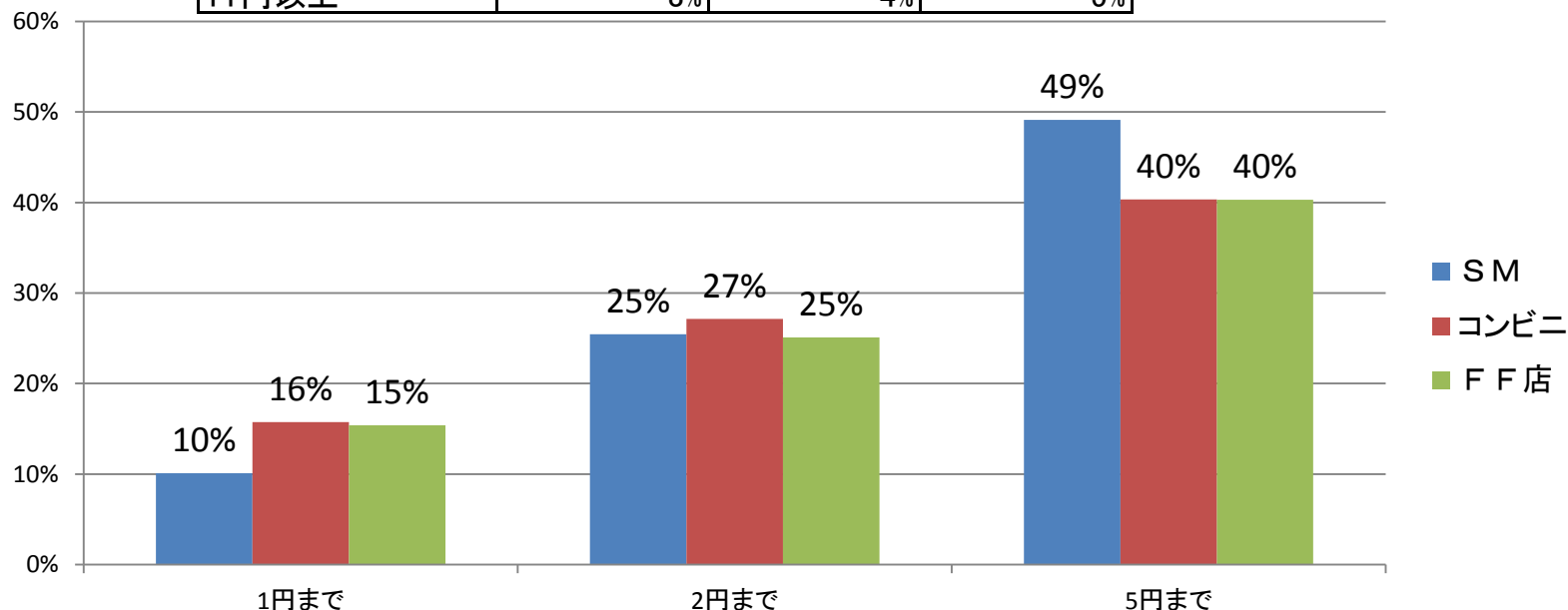
SMではレジ袋有料化賛成が過半数を超えるものの、コンビニやFF店では賛成40%以下にとどまっており、有料化への意識の違いが表れている。

2)レジ袋有料化に関する意識

Q10,15,20レジ袋1枚当たり、いくらまでであれば許容範囲ですか
 (レジ袋有料化に賛成の方のみ回答)

N=1,168

	SM	コンビニ	FF店
1円まで	10%	16%	15%
2円まで	25%	27%	25%
5円まで	49%	40%	40%
10円まで	13%	13%	15%
11円以上	3%	4%	5%



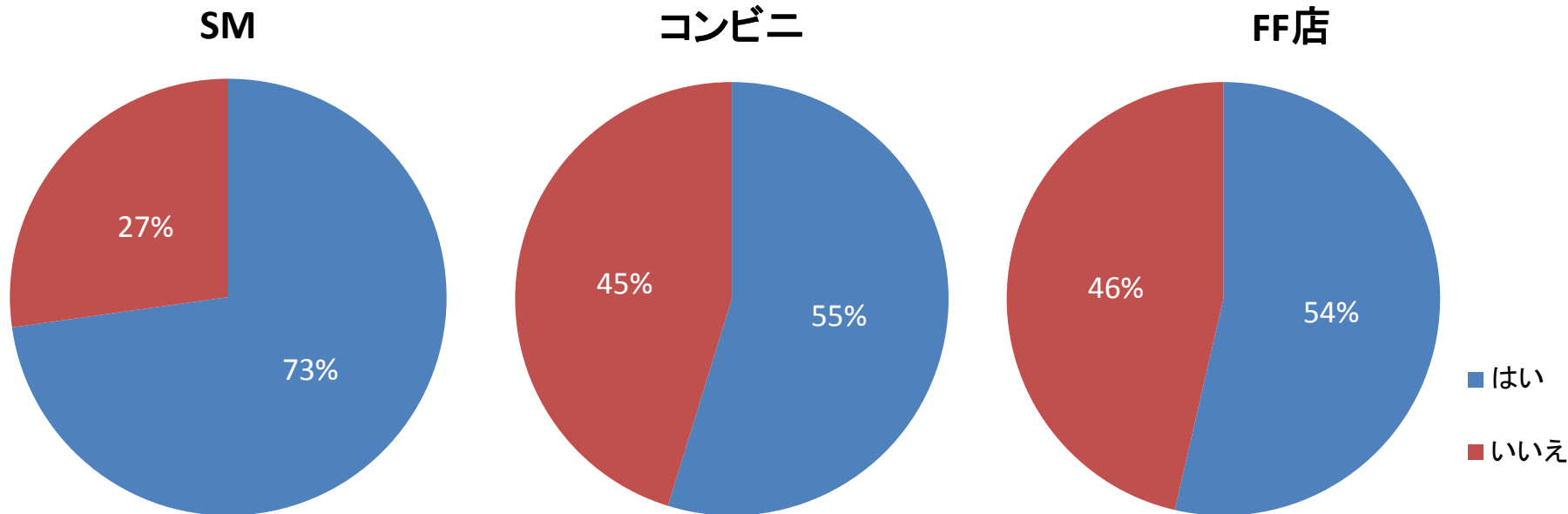
レジ袋を有料化した場合の金額の許容範囲も、SMに比べて、コンビニやFF店の方が「1円まで」の回答が多く、許容金額が低くなっている。SMではその分「5円まで」の回答が増えており、有料化賛成の方にも、コンビニやFF店ではレジ袋の費用を抑えたい意思が表れている。

2)レジ袋有料化に関する意識

Q11,16,21レジ袋が有料化された場合、利用し続けようと思いますか

	SM	コンビニ	FF店
はい	73%	55%	54%
いいえ	27%	45%	46%

N=1,804



コンビニ・FF店でレジ袋が有料化された場合、利用し続けようと思う度合いがSMの場合に比べて低く表れている。費用が発生することによって満足度低下度合いが強いと思われる。

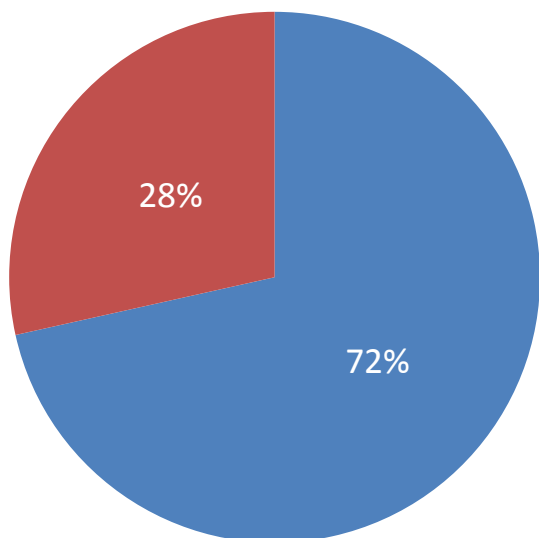
3) マイバッグに関する意識

Q22,25,30マイバッグを利用しますか

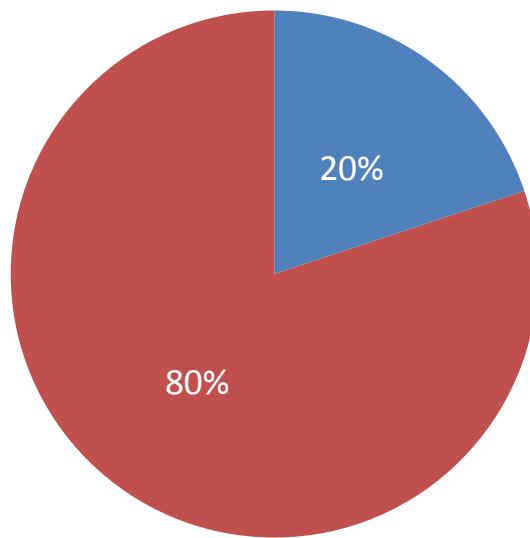
N=1,804

	SM	コンビニ	FF店
利用する	72%	20%	10%
利用しない	28%	80%	90%

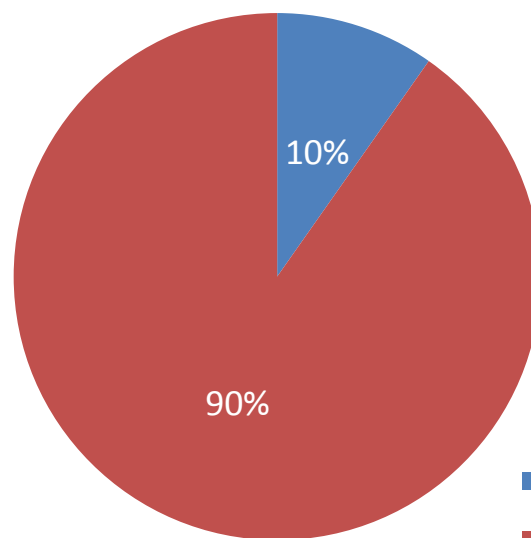
SM



コンビニ



FF店



■ 利用する
■ 利用しない

マイバッグの利用意識は、SMがコンビニ・FF店に比べて圧倒的に高い結果となっている。

3) マイバッグに関する意識

Q23,26,31「マイバッグを利用しない」と回答された方はその理由をお聞かせください

	N=514	N=1,445	N=1,628
	SM	コンビニ	FF店
レジ袋が便利だから	49%	50%	51%
マイバッグを持たないから	41%	31%	31%
その他	10%	19%	18%

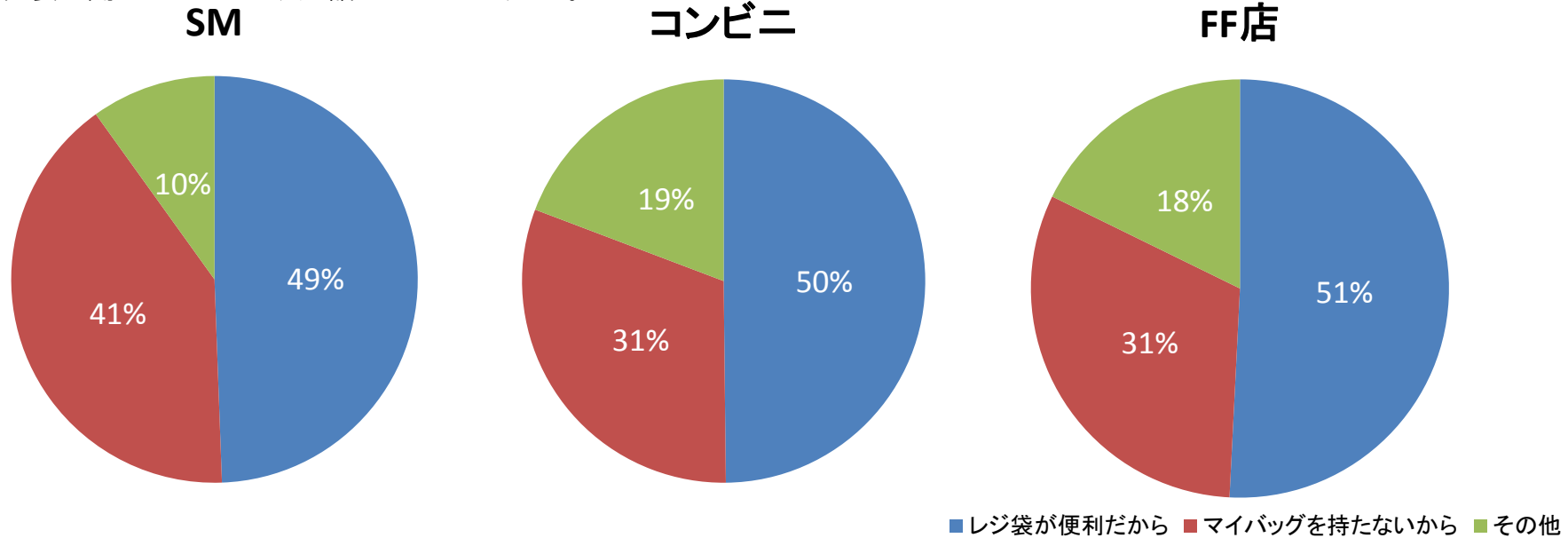
【その他コメント例】

(コンビニ)

- ・少量しか買い物しないから。
- ・目的があって立ち寄ることが少ないので袋をもっていないことが多い。
- ・袋が必要か聞かれることなく袋に詰められてしまうから。

(FF店)

- ・他の荷物と区別したいから。
- ・匂いや油が残る。
- ・テイクアウトをする時にマイバッグを持っていないことが多いから。



マイバッグを利用しない場合の理由では、コンビニ、FF店では、「マイバッグを持たない」という理由がSMに比べて少なくなっている。コンビニでは少量買いや非目的によることが多くなること、FF店では匂いをつけられないようレジ袋で区別したいこと等が理由に上がっている。

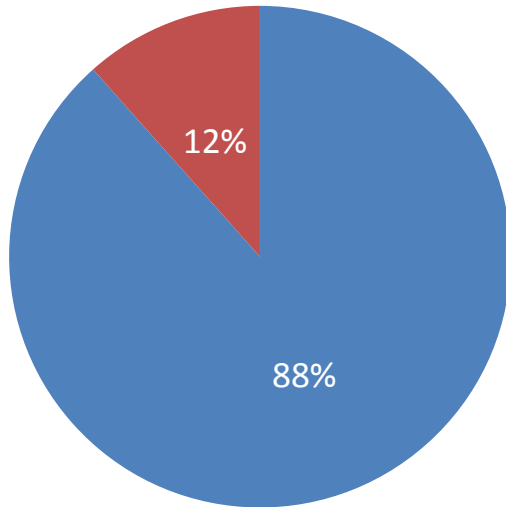
3) マイバッグに関する意識

Q24,27,32レジ袋が必要かどうか聞かれたことはありますか

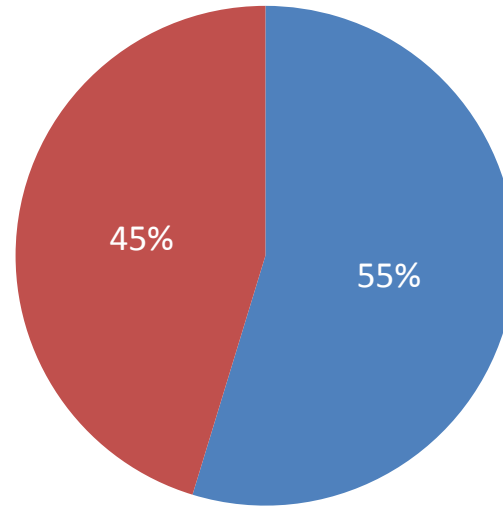
N=1,804

	SM	コンビニ	FF店
聞かれたことがある	88%	55%	18%
聞かれたことがない	12%	45%	82%

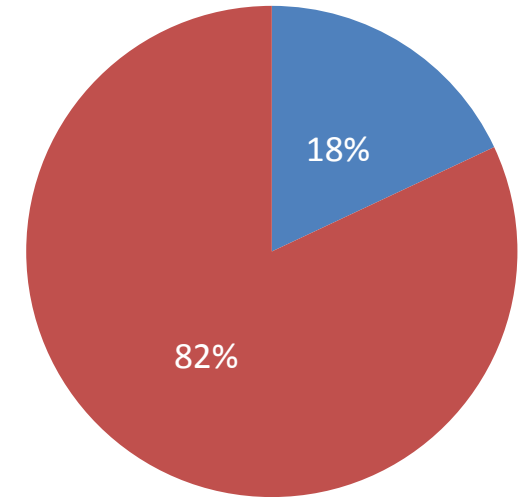
SM



コンビニ



FF店



■ 聞かれたことがある ■ 聞かれたことがない

レジ袋が必要かどうか聞かれることは、SMでは88%の方が「聞かれたことがある」と回答しているが、コンビニでは55%、FF店では18%となっている。FF店では基本的にレジ袋の要否を聞かれる場面が少ないことが表れている。

3) マイバッグに関する意識

Q28,33テイクアウトをする際、レジ袋を断ったことがありますか

	コンビニ	FF店
ある	75%	16%
ない	25%	84%

N=1,804

Q29,34どのような場合、レジ袋を断りましたか

【コメント例】

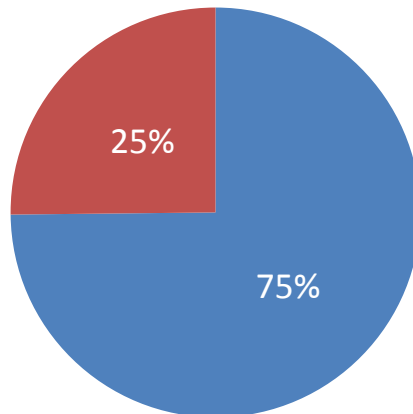
(コンビニ)

- ・少量の購入、すぐに開封してしまうものの購入。
- ・ジュース1本だけ、おにぎり1個だけ等、買ったものが少数の場合に断った。
- ・袋に入れてもらうほど商品を買わなかった時にレジ袋を断った。
(ジュース1本の時、等)

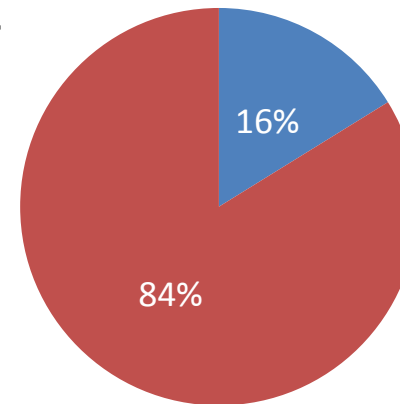
(FF店)

- ・ドライブスルーで袋がなくても不便でない時。
- ・手で持てる量の際は必ず断る。量が多い時は袋に入れて貰う。
- ・ジュース等、汚れない製品の単品のみを購入した時。

コンビニ



FF店



■ ある ■ ない

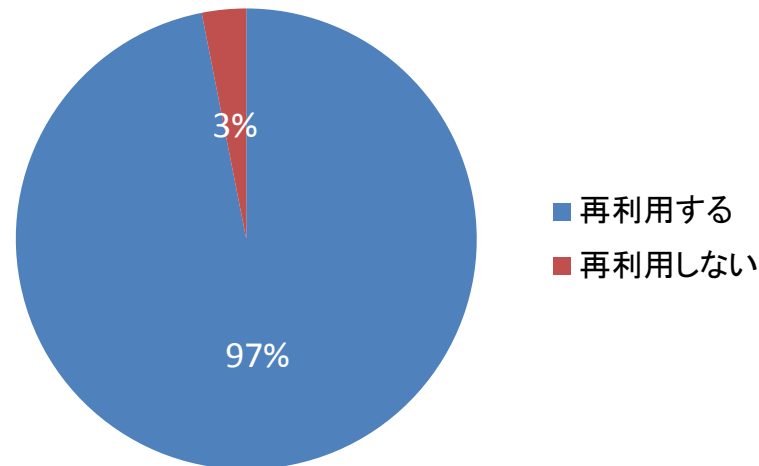
レジ袋を断ったことがあるか否かは、コンビニでは75%の方が「ある」と回答したが、FF店では16%の方が「ある」と回答した。FF店では消費者としてもレジ袋を受け取ることが基本になっている。コンビニでレジ袋を断るか否かは商品購入数・商品サイズに依存することが多い。

4) 再利用に関する意識

Q35持ちかえったレジ袋は再利用しますか

	割合
再利用する	97%
再利用しない	3%

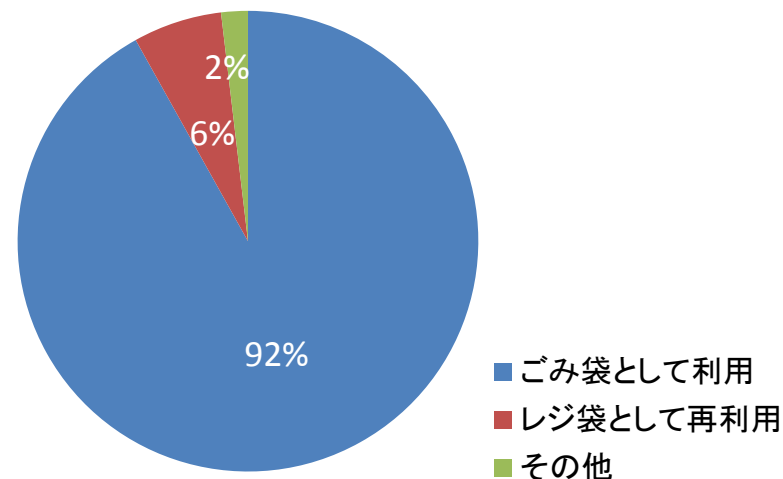
N=1,804



Q36持ち帰ったレジ袋をどのような用途で再利用しますか

	割合
ごみ袋として利用	92%
レジ袋として再利用	6%
その他	2%

N=1,804



【その他コメント例】

- ・犬の汚物入れ。
- ・母親が近所の人に物をあげる時に利用している。
- ・着替え用の服を入れる等。

持ち帰ったレジ袋は97%の場合で再利用される。その用途も大半が「ごみ袋として利用」となっている。

●調査結果より

コンビニ・FF店はSMよりレジ袋が必要とされており有料化等、SMと同様の形式でレジ袋削減の取り組みを行うことは、消費者の満足度低下に繋がってしまう可能性が高い。また、渡されたレジ袋は大半で再利用されており、無駄にはなっていないことが分かる。マイバッグについては、SMでは利用するが、コンビニやFF店では利用しない傾向が表れている。購入商品量・内容や利用場面の違いによって使い分けされている。

●今後の取り組み

(店舗での取り組み)

- ①弁当類(FF店ではハンバーガーやドーナッツ類)の場合には袋を用意するが、その他の場合には袋の要否について声かけをする。
- ②消費者がマイバッグを持っているか持っていないか、に合わせて声かけをする。
(FF店の場合には、匂いを分ける目的で紙袋のみでよいか、の声かけ)
- ③消費者にレジ袋が必要か否かを選んでもらう。(レジ袋要否カード等)

(協会としての取り組み)

- ①持ち帰ったレジ袋が再利用されていることを広く認識していただき、再利用をさらに促進させる。
(どのように再利用されているか、効果的な再利用方法の普及等)
- ②コンビニやFF店でも場面に合わせてマイバッグを利用してもらおうよう、普及・啓発を自治体等と連携して行う。
- ③レジ袋が不要となる場面で声かけが行われているか、その徹底度合いを検証。
- ④店舗で実施している環境への取り組みについて、消費者の認識を調査し、広報して認知を広める。

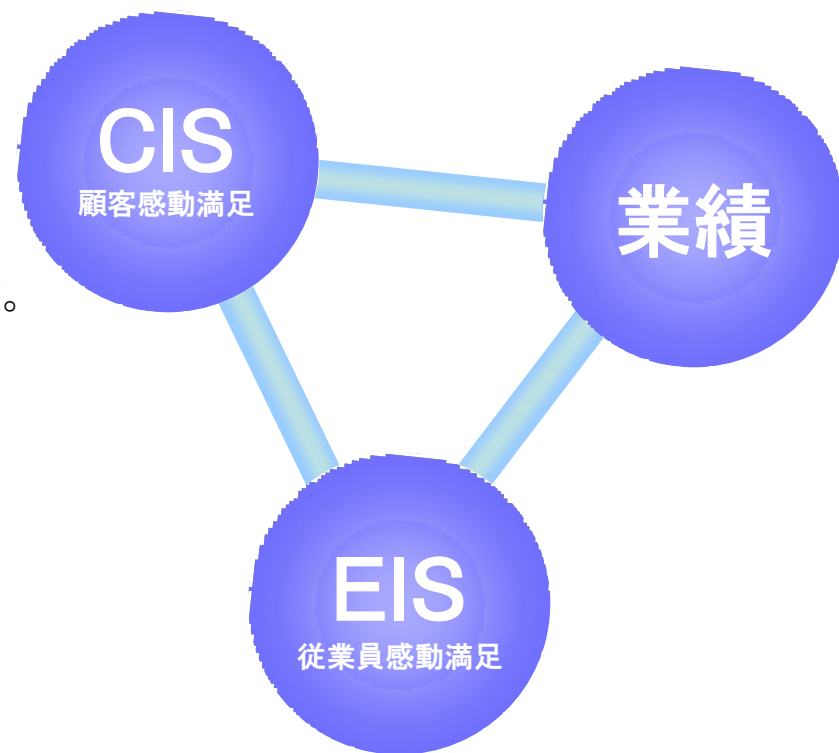
弊社紹介

株式会社MS&Consultingは消費者と店舗、現場と経営を結ぶ企業活動を通じ、「精神的に豊かな社会の創造」に貢献します。その実現に向け、様々なパートナーの方々が、様々な幸福を見出します。そのお手伝いのできるサービスの提供を目指します。

Our service line-up

ミステリーショッピングリサーチ
高品質で実績ある覆面調査と経営改善コンサルティングをご提供。

HERBプログラム
お客様と従業員の感動満足度を促進し、成功事例の共有と改善運動をサポート。



MS & Consulting (MS & C) : 会社概要

商号	株式会社 MS&Consulting
設立	2008年5月16日 ※
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町4-9 小伝馬町新日本橋ビルディング4F
代表者	代表取締役社長 並木昭憲
資本金	471,540千円
株主	東京海上キャピタル株式会社
事業内容	顧客の心理変化を明らかにするミステリーショッピングリサーチを起点とした、サービス・プロフィット・チェーン(※)実現に向けた経営コンサルティング 調査分析(ネット調査、グループインタビュー、競合店調査等) ※従業員満足向上→顧客満足向上→業績向上のサイクル
対象業界	サービス産業全般(百貨店・GMS・SMマーケット・ドラッグストア・専門店チェーン・アパレル販売・飲食・ショッピングセンター・化粧品販売・美容室・エステ・フィットネスクラブ・美術展・学習塾・カラオケ・インターネット通信販売・ホテル・金融機関・地方自治体・自動車サービス・住宅販売等)
所属団体	一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会 賛助会員 財団法人 日本生産性本部 サービス生産性協議会 企画会員 NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会 法人会員 ほか

※ 2008年5月(株)日本LCA(東証二部上場・経営コンサルティング業、現(株)エル・シー・エーホールディングス)より分社化

MS & Consulting (MS & C) : 調査実績

ミステリーショッピングリサーチ 導入実績(掲載にご同意いただいた企業様)



株式会社成城石井



株式会社パーク・コーポレーション



株式会社ゾフ



株式会社ラッシュジャパン



KGJ GROUP株式会社



株式会社ドン・キホーテ



株式会社アトレスタイル



株式会社ハ芳園



たまプラーザ テラス



福岡地所株式会社



株式会社東急モルズ
デベロップメント



小田急電鉄株式会社



株式会社スタイリングライフ・
ホールディングス



株式会社イムズ



株式会社コスメネクスト



JR九州ホテルズ
JR九州ホテルズ株式会社



ファーストキッチン株式会社



日本サブウェイ株式会社



株式会社ロッテリア



クリスピー・クリーム・ドーナツ・
ジャパン株式会社



コールド・ストーン・クリーマリー・
ジャパン株式会社



株式会社ドンク



株式会社ダイナック



城山観光株式会社



株式会社良品計画



株式会社プライム・リンク



プレツェルジャパン株式会社



キュービーネット株式会社



株式会社ラフィーク



株式会社ワンダーテーブル



株式会社エー・ピーカンパニー



株式会社サッポロライオン



セキミキ・グループ株式会社



株式会社ITS'DEMO(イッデモ)



フルラジャパン株式会社



株式会社ブランドゥシー



株式会社アクア・グラツィエ



株式会社トリート



株式会社キタムラ



株式会社写真工芸社



株式会社東急スポーツオアシス



株式会社ルネサンス



JR九州リゾート開発株式会社



ノインドアステージ株式会社



株式会社タイトー



株式会社ゴルフパートナー



株式会社レディ薬局



株式会社ユタカファーマシー



パーフェクトポーション
ジャパン株式会社



株式会社サッポロドラッグストア



株式会社丸大サクラ薬局



株式会社ハピネス



株式会社アン



株式会社トミーズ・スター



有限会社フィールド



株式会社トニーアンドガイジャパン



株式会社ソシエ・ワールド



株式会社ハッピーヘアライフ
ホールディングス



株式会社MASHU



NPO法人日本ビューティ・
コーディネーター協会



NPO法人居酒屋甲子園



NPO法人ばちこ情報リーグ



一般社団法人ネイルグランプリ



スタイリスト CIS AWARD

弊社サービスのご契約企業様の一部をご紹介します。⇒ 弊社ホームページ「導入事例」(<http://www.msandc.co.jp/jirei/>)にて豊富な実例をご紹介します。